

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	森林環境教育 「森の恵みでゲームとおもちゃ作り ～人と森のすてきな関係を見つける～」		
開催日時	2023年11月19日（日）10時～12時		
開催場所	船橋県民の森（船橋市）	一般参加者	10名

活動概要：森の恵みでおもちゃ作りシリーズ第3弾では、10000年前、100年前、現在それぞれの時代に人が作ることができるようになった物の材料をクイズで当てながら、それを使っておもちゃを作り遊びました。10000年のタイムトラベルです。

今年、挑戦したことは、トチの実同時キャッチボール、布でのドングリヨーヨーとシラカシパチンコ、です。

ヨーヨーの中身のドングリ3種を6種のドングリから、木の実いろいろ表を手掛かりに選び取ることに挑戦。そして、ドングリを包む布や紙が何から作られているのかという謎解きも見事にクリア。これには、カラムシの刈取、和綿の種と布小片をほぐすことが役に立ちました。

紙は何から作るのかの謎解きには、豆乳パックで作った文具シール入れ容器に付いているFSC森林認証マークの木の形が役に立ちました。出来上がったヨーヨーは実に様々で、白シールに銀シールを重ねてミノカサゴの魚らしい目を工夫した子もいました。森のタヌキやリスの形のヨーヨー作りに挑戦した子もいます。

100年位前人が作れるようになった物クイズでは、シラカシパチンコ作りで使う輪ゴム・透明なセロテープが木から作られるようになったことにビックリし、「木の油から作るのでは？」と深掘り思考のミニ科学者も現れました。

同じく、木の繊維から作ったセロハンを口に当ててブーブー震わせる遊びや、昔のせっけんエゴの実でのあわあわシャボン実験も楽しみました。エゴの実の遊びでは、皮を全部取って種だけにした子も現れ、泡立たないことに一層の科学の思考が高まりました。

現在作れるようになったもの そして未来に役立つ知恵としてセルロースナノファイバーを紹介しました。「セ」がつく言葉であることをヒントに「木から作っているんだ！」と考えつくことができるようになってきている子ども達でした。（2040年には、100%セルロースナノファイバーでの製品も売り出される国による計画も大人には、アピール）最後の振り返りでは、「科学者になる！」と多くの子が言っていました。



（セロハンでの音遊び）



FIC講師： 講師：西河内 ひとみ
FICスタッフ 4人